

# 八戸西など4強入り

青森県

春季高校野球

地区大会

春季青森県高校野球地区大会は24日、全6地区で計18試合を行った。八戸地区は準々決勝が行われ、今春の選抜甲子園大会に出場し

た八戸西、八学光星、工大二、工大一が4強入り。リーグ戦の十和田地区は八学野西、三本木、三沢商、むつ地区はむつ工、大湊がそれぞれ白星を挙げた。25日は5地区で計14試合を行う。

（林泰輔）

## 八戸地区

（長根球場ほか）

▽準々決勝  
八学光星00202406 214  
八戸000101000 214  
（8回コールド）  
（光）太田 森 小室 織笠、伊藤  
（八）壬生、石橋 佐々木颯

▽本塁打 久守（光）  
▽三塁打 伊藤（八）▽二塁打 高柳、浦野、須藤、久守、北浦（光）  
八戸西 2115101 311  
ウルスラ02000001 311  
（7回コールド）  
（八）平内、椛木 大釜、藤本  
（ウ）中村晴、西野、山田 大川  
▽二塁打 村上2、廣田2、桐山（八）  
八戸北000000 130  
工大10111× 130  
（5回コールド）

（八）八嶋、武部 渡邊  
（工）上野、酒田 種子  
▽三塁打 高橋、佐々木  
（工）▽二塁打 細川、酒田（工）  
八戸東000000 100  
工大21241× 100  
（5回コールド）  
（八）福田、松原、奥島 小笠原  
（工）本間 葛西  
▽二塁打 工藤、澤口、葛西（工）

### 持ち前の打力発揮

○：八戸西は今春のセンバツ以来となる公式戦で、七回までに15安打を集め11得点でコールド勝ち。仕切り直しの一戦で、持ち前の打力を発揮した。

春夏通じて初の甲子園は、ほろ苦い初戦敗退。今大会にはセンバツから背番号やポジション、打順を大幅に入れ替えて臨んだ。

1番村上歩夢は2安打2打点、2番高間箱好誠は俊足を生かしてバント安打を決めるなど、それぞれ持ち味を発揮。四回には主砲廣田大和の適時二塁打を含む打者一巡の猛攻で5点を奪った。

準決勝の相手は昨秋の県大会決勝で大敗を喫した八学光星。今大会エースナンバーを背負い、投打の中心として期待がかかる廣田は「夏に甲子園に行くためには、私立に勝たなければいけない。マウンドでも打席でもしっかりチームを引っ張る」と意気込んだ。